

ふるさとの景色と生きものを 守る活動をしています

●野焼きに欠かせない「輪地(防火帯)」切り作業



●草原にくらすチョウの保全



●生きものたちの住みやすい田んぼビオトープづくり



●自然共生型田んぼの効果検証



アクセス

主要な町からの所要時間(自動車)

- ◆大分市内から 約1時間15分
[大分自動車道-湯布院IC-県道11号線]
- ◆福岡市内から 約2時間
[九州自動車道-鳥栖JCT-九重IC]
- ◆熊本市内から 約2時間30分
[国道57号線-阿蘇-宮線-県道11号線-牧ノ戸峠]

◇マップコード 440 824 582*03

マップ検索(Google)



お問合せ

一般財団法人
セブン-イレブン記念財団 九重ふるさと自然学校

〒879-4911
大分県玖珠郡九重町大字田野1726-408
TEL: 0973-73-0001 FAX: 0973-79-3434
kujyu-sizengakkou@7midori.org
https://www.7midori.org/kokonoe/



九重ふるさと自然学校ホームページ

©セブン-イレブン記念財団001-2203-2500

九重ふるさと自然学校

～ふるさとの自然を守りたい、伝えたい、つなげたい～



一般財団法人
セブン-イレブン記念財団

ようこそ!九重ふるさと自然学校

九重ふるさと自然学校の取組み

大分県くじゅう連山のすそ野に広がる飯田高原には美しい草原や清らかな水をたたえる田んぼが広がっています。これらは人と自然が折り合いながら育んできた、日本の原風景。私たちは、地域の皆さんと想いをともにし、ふるさとの景色と生きものを守り、自然とともに暮らす知恵を伝え、つなげることを目指しています。

草原の今



かやぶき屋根や牛馬の工サの草を採るため、火入れや草刈りをして維持されてきた草原。日本の気候では、手入れしなければ草原は森林へと変化します。かつて、日本国土の約10%の面積を有した草原は、今では約1%となり、草原の生きものも多くが絶滅の危機に瀕しています。

田んぼの今



田んぼは人が稲作のために作り出した人工的な湿地ですが、水温が高く、流れがなく、大型の捕食者も少ないなどの条件が整い、水生昆虫やカエルなどにとって理想的な生息環境となりました。しかし、近代の農業革命を通して、生産性は劇的に向上した一方、生きものたちは姿を消してしまいました。

九重の自然保護・保全

九重のすばらしい自然を次世代へ継承するため、草原の野焼きをはじめ、希少生物の保全や外来種の駆除活動など自然環境の保護・保全に携わっています。



自然共生型田んぼづくり

「田んぼはお米とともにたくさんの生きものを育む場所」ととらえ無農薬栽培、ビオトープの整備など生きものの生息環境に配慮した田んぼづくりに取り組んでいます。



「国連生物多様性の10年日本委員会」認定事業

伝統野菜/伝統食/行事食

食とは、地域の気候や環境、そこに暮らす人たちによって、織りなされ、形づくられてきたものです。九重の人と自然が育んできた食文化を継承し、次世代に繋げていく活動を行っています。



体験プログラム

山や川、草原、田んぼなどをフィールドに、生きもの観察や田んぼづくり体験、四季の行事など九重ならではの自然や文化を感じ、学べる体験プログラムを実施しています。



地域子ども育成

九重の自然や文化体験を通じて子どもたちにふるさとの素晴らしさを伝える活動を行っています。九重町や公民館、小学校、地元住民の方などと連携しながら、様々な事業に参画しています。



動画でも活動を配信しています

九重ふるさと自然学校HP
九重ふるさと自然学校 Facebook
九重ふるさと自然学校 Youtubeチャンネル



九重ふるさと自然学校は セブン-イレブン記念財団 が運営しています

全国のセブン-イレブン店頭で寄せられたお客様からの募金は、(株)セブン-イレブン・ジャパンからの寄付金と合わせて、環境をテーマにした市民活動の支援や自然環境保護保全活動に使われています。



興味のある方なだても
自然・里山体験プログラム
くじゅうの自然や暮らしとふれあう

募集プログラムの詳細は、ホームページをご覧ください



**自然で遊ぼう！おやとこ
～田んぼの巻～**

田植えから稲刈り、収穫したお米の美食や、刈った稲でしめ飾りづくりなど、1年を通して田んぼに密着します。

川の生きものしらべ

九重の上流の川で生きものしらべ。綺麗ですんだ川で夏を満喫できます。



草原自然観察会

草原は季節ごとに草花や野鳥、昆虫など、多くの生きもののにぎわいます。自然観察しながら、美しい風景も満喫します。



学校など団体向け
環境学習プログラム
オーダーメイドの環境学習

ご希望の日時やテーマなど、お知らせください。企画、実施いたします

ちょこっとガイド

さとばるをスタッフが一緒に散策ガイドします。



田んぼの生きものさがし

お米も生きものも育む自然共生型田んぼで生きものを採集し観察。カエルやトンボ、ゲンゴロウ類に魚など、たくさんの生きものどろんこになりながら仲よくなれます。



講演：くじゅうの自然

学年やカリキュラムに沿った授業をオーダーメイド。自然体験活動や、四季折々のくじゅうをスライドで紹介。



自然のためになにかしたい人！
Let's ボランティア
くじゅうの自然を守る仲間の一員に

その他、自然学校フィールド整備やプログラムスタッフなども

飯田高原野焼きボランティア

野焼きのほかにも、延焼を防ぐための防火帯づくりなど重要な作業があります。草原の環境や生きものを守るために、一緒に活動しませんか？



ボランティアデイキャンプ

お米も生きものも育む自然共生型田んぼづくりや、野鳥のためのバードフィーダーづくりなど様々な活動を行います。



さとばるサロン

草原のチョウや植物の調査活動。環境を守るために、生きものや植物と環境の関係性を学びませんか？



さとばるマップ

1 事務所



木々に囲まれ揺れる水面を見ながらテラスでほっとひとやすみ。屋内から野鳥観察もできます。

2 みいれが池



昔この辺りを「みいれが塚」と呼んでいたことから名づけました。春から秋は水面に映る景色を、冬は凍った姿を楽しめます。

3 田んぼ



お米と生きものを育む、自然共生型田んぼ。冬水田んぼや田んぼビオトープの実践の場です。

4 チョウの草原



春には野焼きをして草原を維持。チョウや野草のホットスポットです。



さとばるとは…？

九重の草原は、人が利用することで長く、その形を維持されてきた「草原」です。ここから活動フィールドの愛称を「里山＝さとばる」と名づけました。

*さとばるは九重ふるさと自然学校が自然環境保全の実践や、環境学習の場として管理・運営しています。

ご利用案内

- 開園時間* 9:30～17:00 (最終受付16:30)
- 定休日* 火曜日
- 休園日* お盆・年末年始
- ※臨時休園などあるので詳しくはHPをご覧ください
- 入園料* 無料(要受付)

**スタッフおすすめ！
散策コース3選**

A みいれが池一周コース

トンボや野鳥など、水辺の生きものを観察できます。ときたまテンやキツネに出会うことも。

A …約15分(360m)

B いきものいっぱいコース

川あり、田んぼあり、草原あり！それぞれの環境や季節で様々な生きものに出会えます。

A B …約30分(850m)

C さとばる満腹コース

空気よし、眺めよし、気分よし！カシワの丘から眺める草原は、時の流れを忘れさせてくれる居心地のいい場所。

A B C …約60分(2200m)

散策する上での注意とおねがい

- 散策の際は、事務所に受付をお願いいたします(事務所にみどころ掲示板等あります)。
- スタッフ不在の場合は、外に受付簿がありますので、お名前のご記入をお願いいたします。
- 火気を持ち込みや、池での水泳、ドローン撮影など、野鳥や動植物へ負荷がかかる行為はご遠慮ください。
- ※ご不明な点はスタッフまでご確認ください

5 どうぶつたちのクヌギ林



キツネやノウサギ、ノネズミなど多くの動物たちの生活の場。動物たちの生活の痕跡を探してみよう。

6 自然教室



体験プログラムの拠点。生きもの図鑑や本も。

7 パンの池



野生の水鳥バンがすむ池。ゆるやかに流れる湧水とケヤキ緑に囲まれた癒しスポットです。

8 カシワの丘



カシワの木がシンボルの広い草原。季節によって表情が変化します。

5月～9月

